

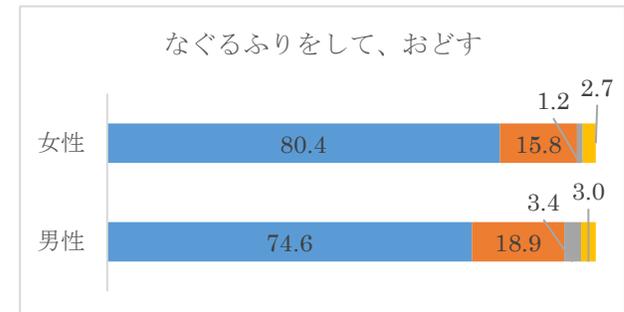
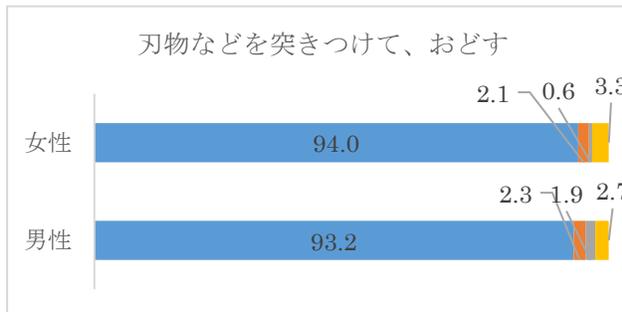
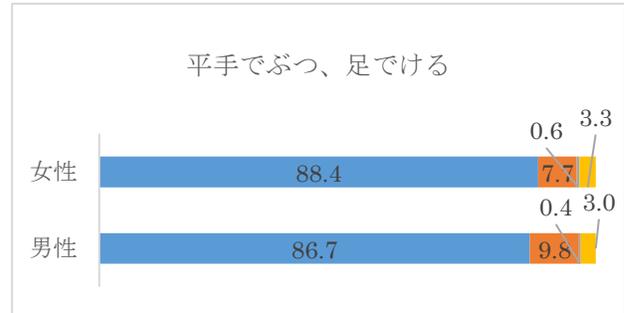
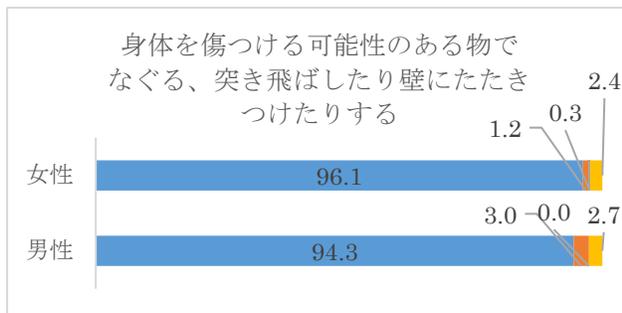
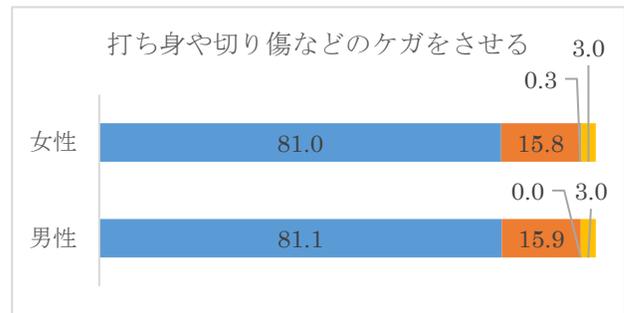
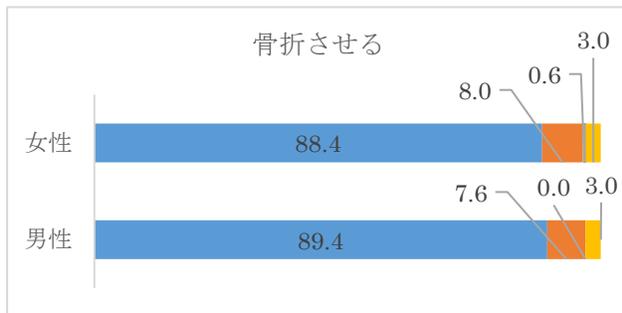
6 暴力について

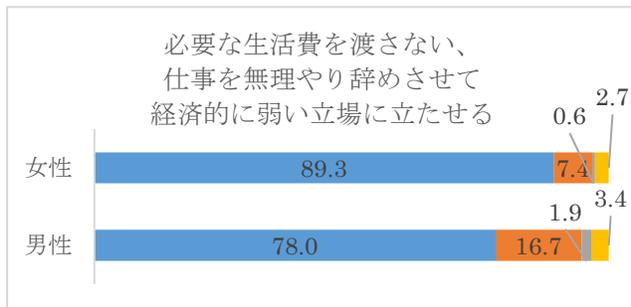
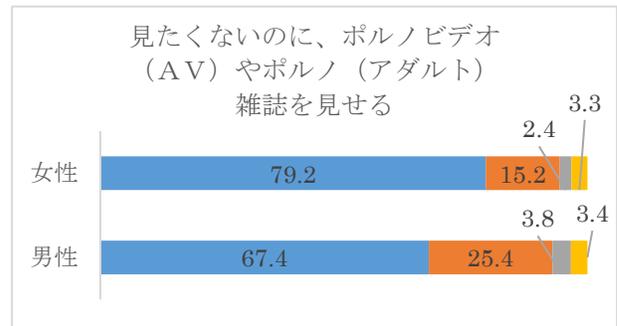
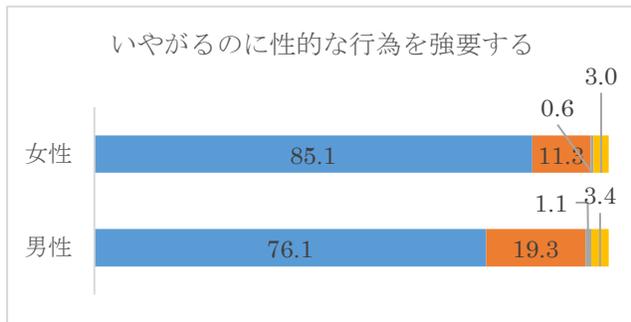
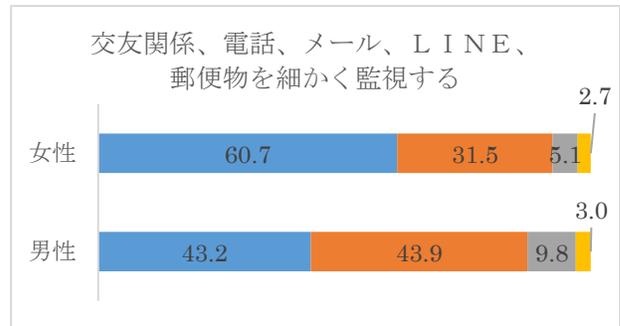
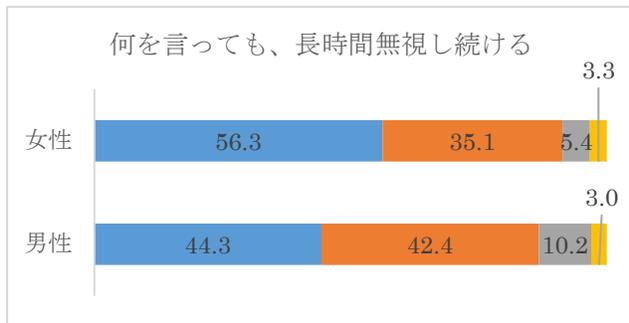
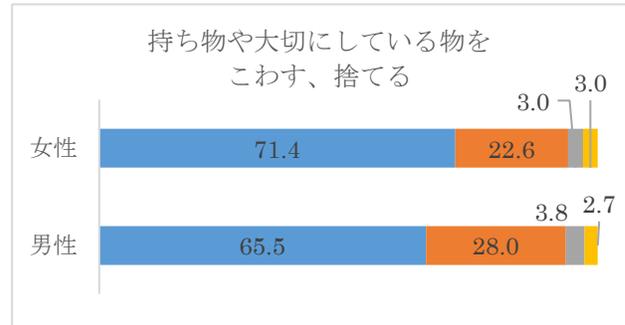
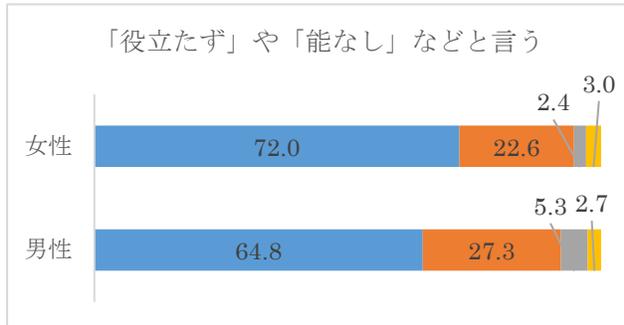
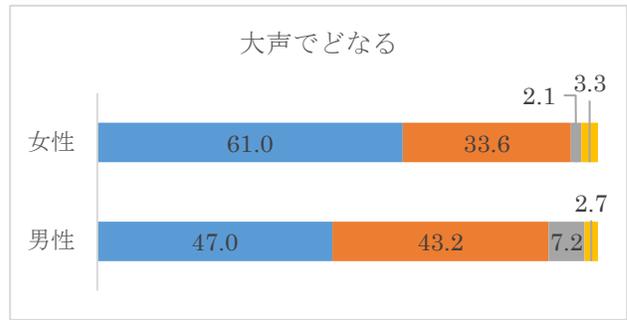
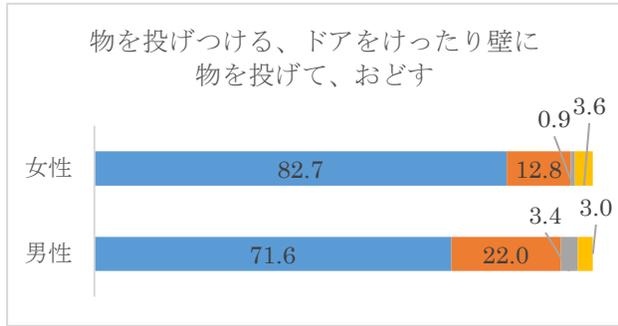
1 夫婦間や交際相手との間での暴力と認識される行為

◆男女ともに身体に対する行為では、ほとんどの項目で「どんな場合でも暴力にあたる」が高くなっています。

◆【大声でどなる】、【何を言っても長時間無視し続ける】、【見たくないのに、ポルノビデオ（AV）やポルノ（アダルト）雑誌を見せる】、【必要な生活費を渡さない、仕事を無理やり辞めさせて経済的に弱い立場に立たせる】では、女性のほうが10ポイント以上高く、暴力に対する認識の差が大きくなっています。

■ どんな場合でも暴力にあたる ■ 暴力にあたる場合もそうでない場合もある
■ 暴力にあたるとは思わない ■ 無回答 ※女性（n=336）・男性（n=264）



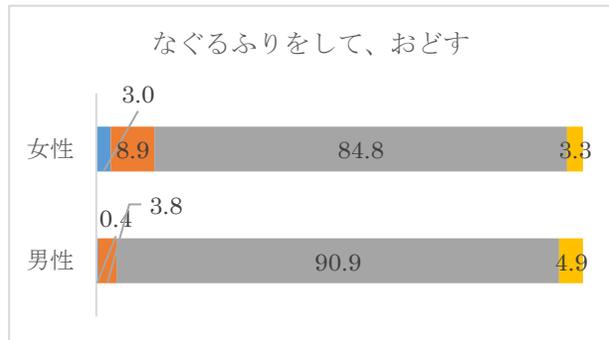
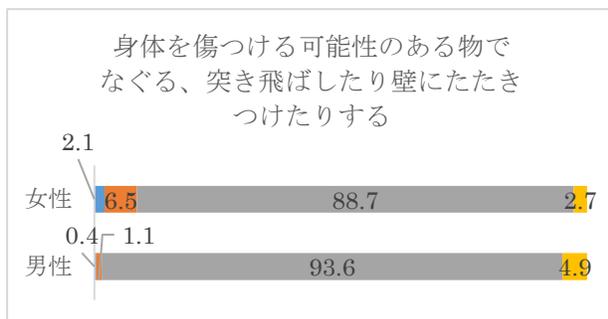
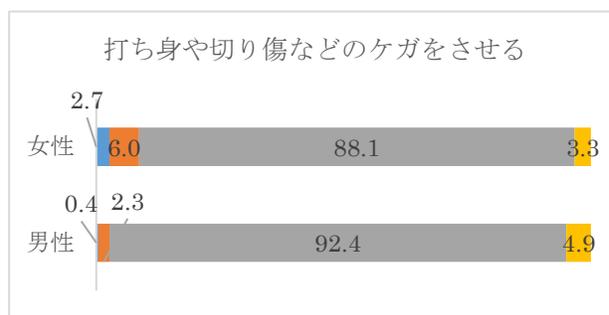
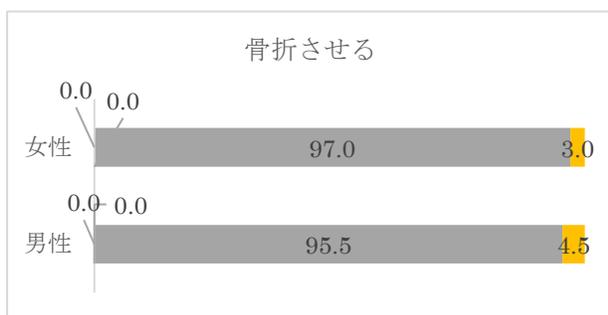


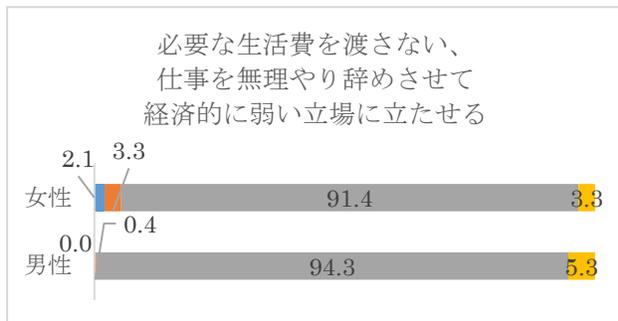
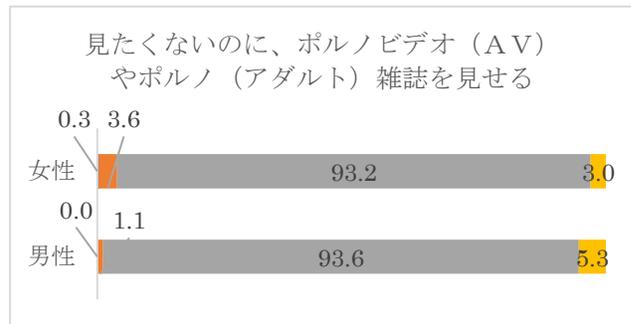
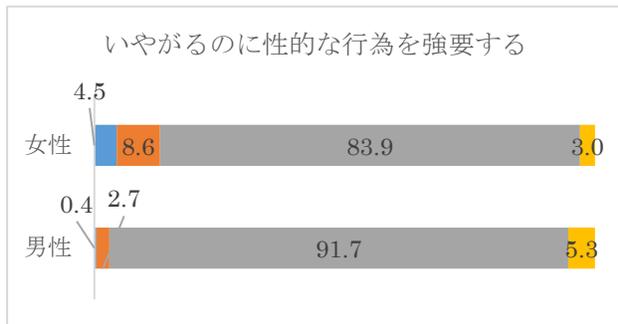
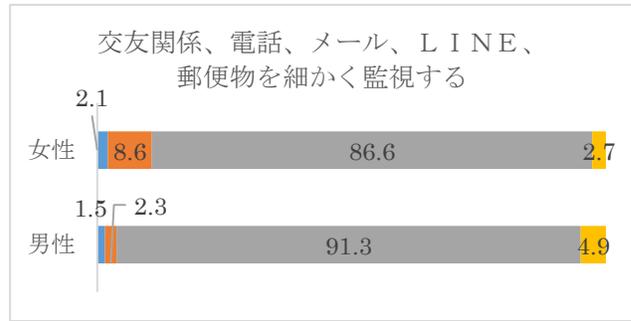
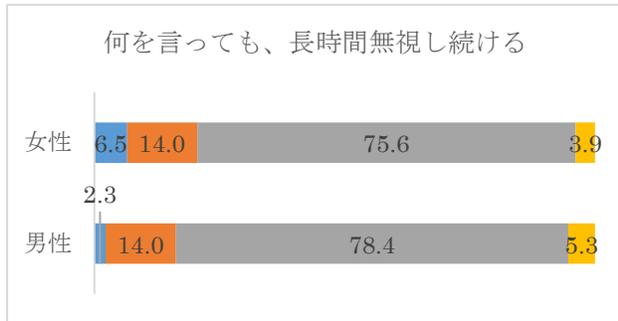
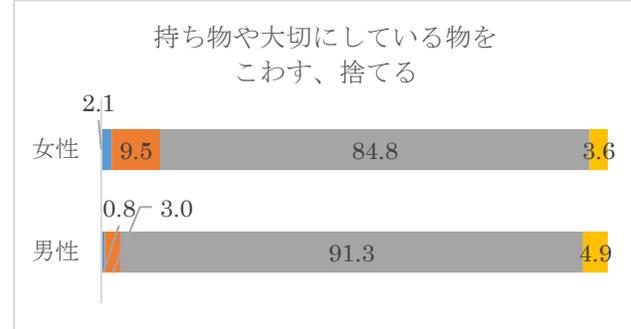
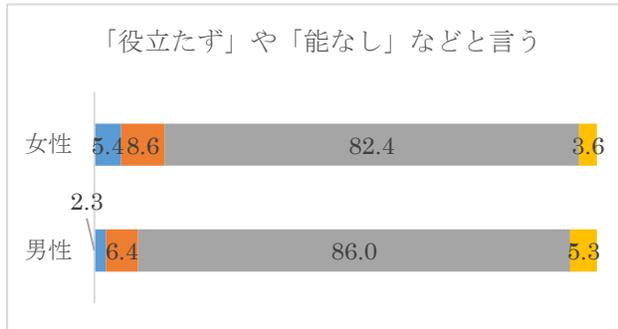
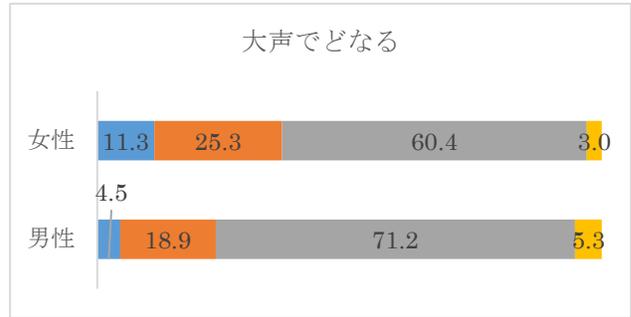
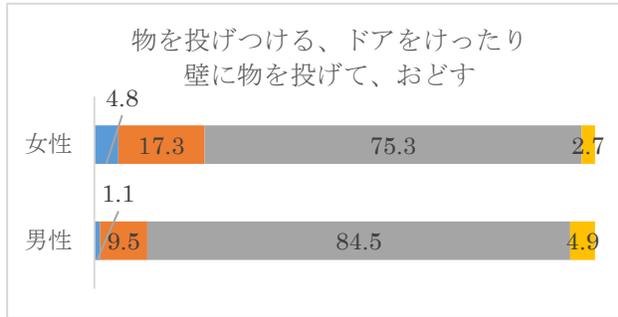
2 配偶者や交際相手からの被害経験の有無

◆女性の3割以上が【大声でどなられたこと】があり、一番高くなっています。次いで【物を投げつける、ドアをけったり壁に物を投げて、おどす】、【何を言っても、長時間無視し続ける】となっています。

◆男性も女性と同じ上記3項目が高くなっています。

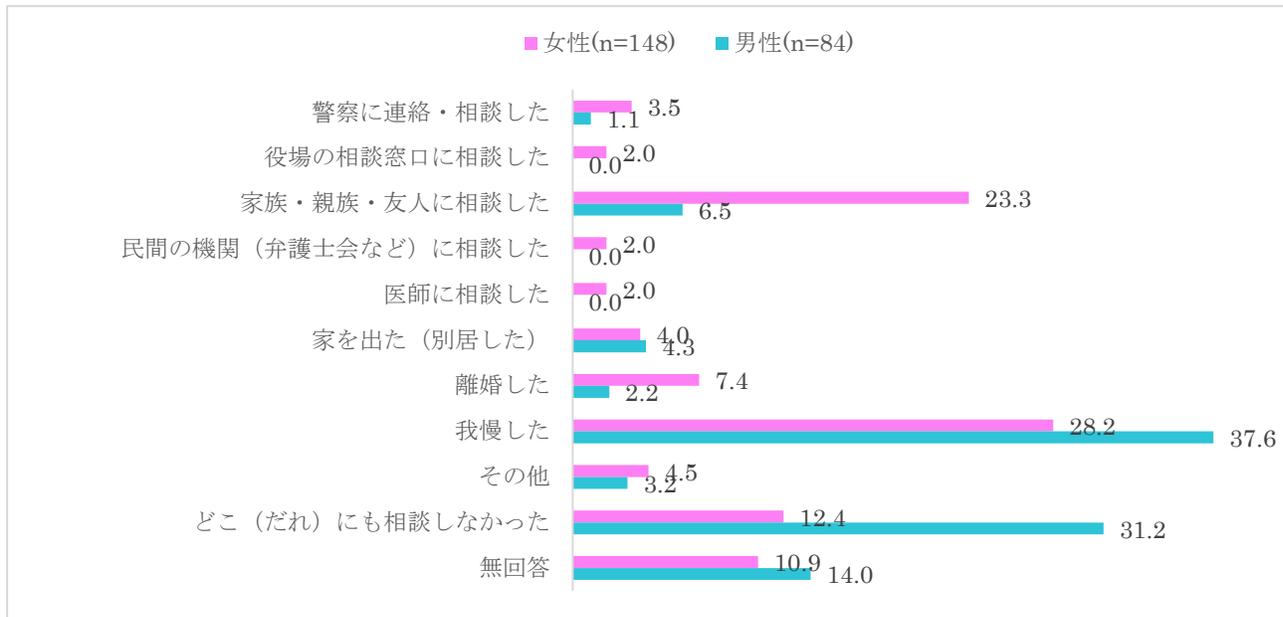
■ 何度もあった ■ 1、2度あった ■ まったくない ■ 無回答 ※女性 (n=336) ・男性 (n=264)





<被害を受けた時の行動>

- ◆女性【我慢した】、【家族・親族・友人に相談した】が高くなっています。
- ◆男性は【我慢した】、【どこ（だれ）にも相談しなかった】が高くなっており、被害を受けたことを他者に相談していないことがわかります。

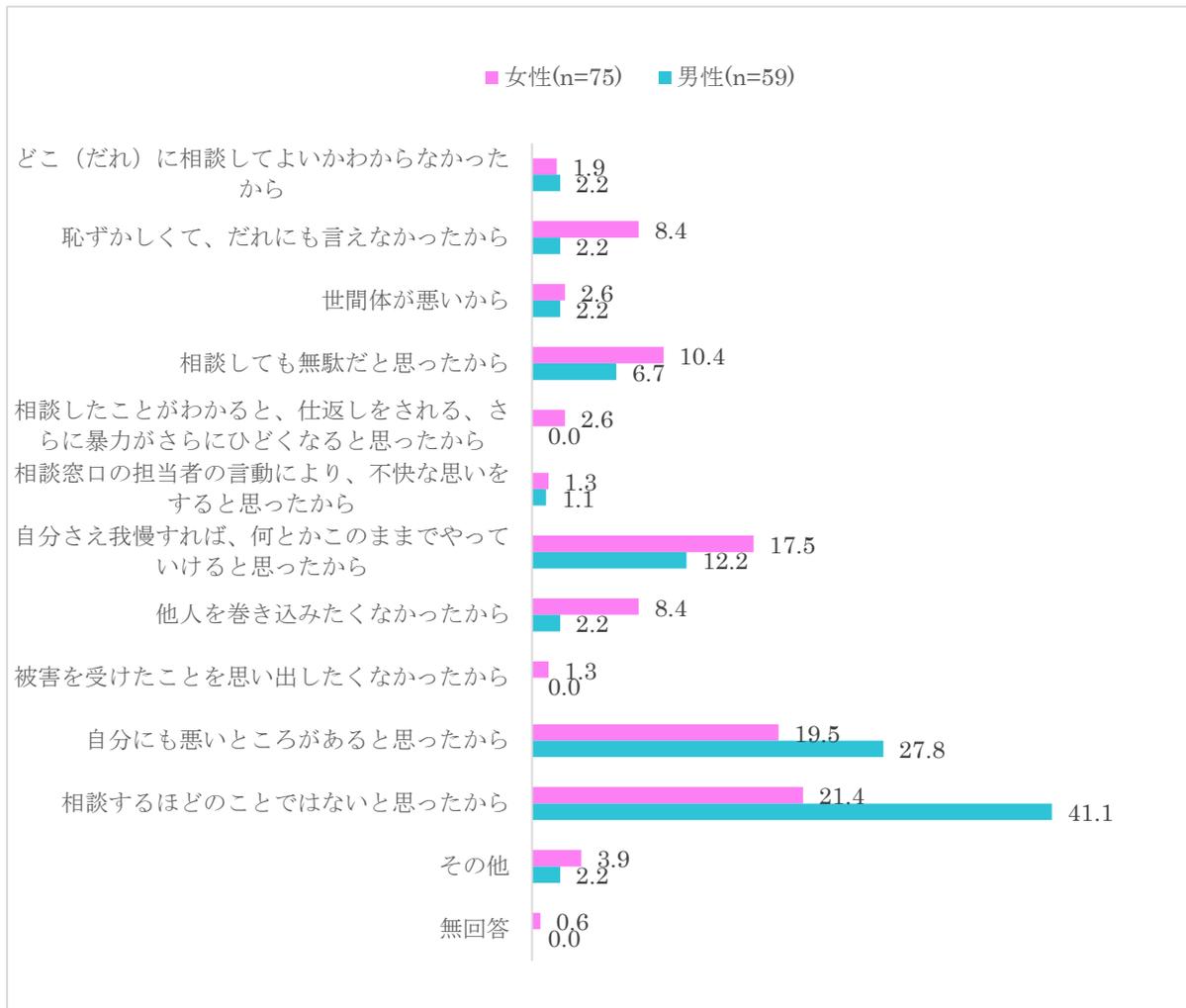


【その他】を選択した方の意見

- ・ 本人と話し合いをした。
- ・ 自分が悪いと思ったから。
- ・ 嫉妬のため、暴力ではない。
- ・ 自分も同じようにした。（喧嘩をした）
- ・ 別れた。
- ・ やり返した。
- ・ ずっと無視する。しばらくすると、普通に戻る。
- ・ お互いに言い合いになった時、大声になってしまうので、冷静になってお互い謝る。
- ・ 自分に腹を立てていたようなので特には気にならなかった。
- ・ 喧嘩した時は良くあることと思いついた。

<我慢した、どこ（だれ）にも相談しなかった理由>

◆男女ともに、【相談するほどのことではないと思ったから】、【自分にも悪いところがあると思ったから】、【自分さえ我慢すれば、何とかこのままでやっていけるといったから】が高くなっています。



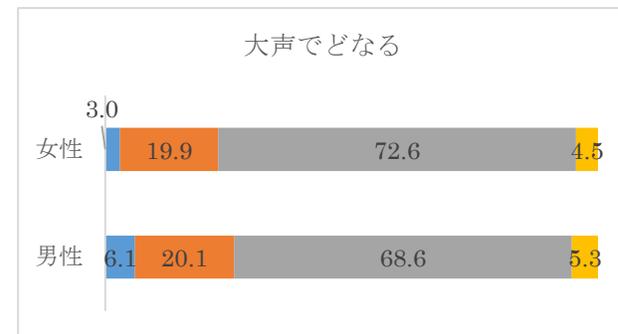
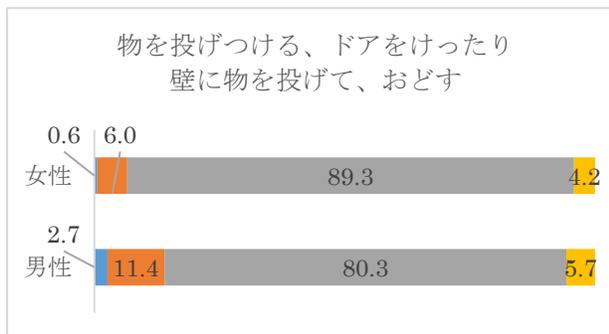
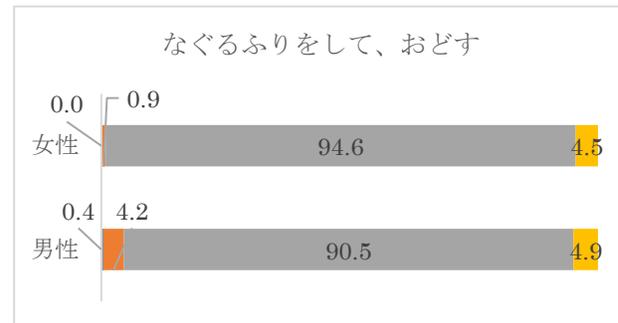
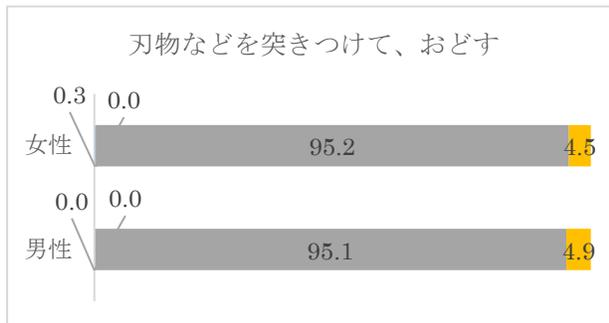
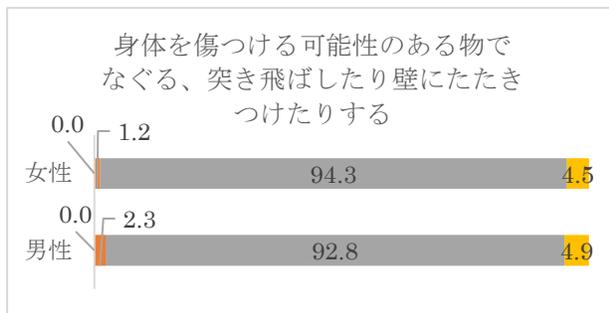
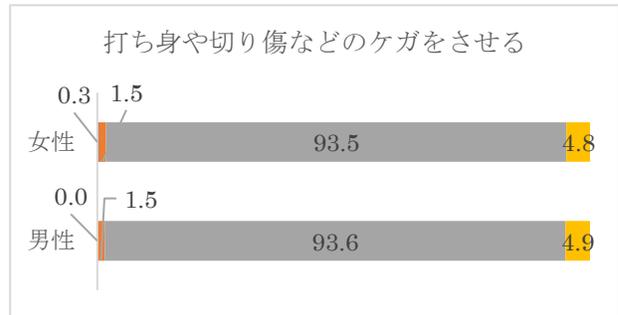
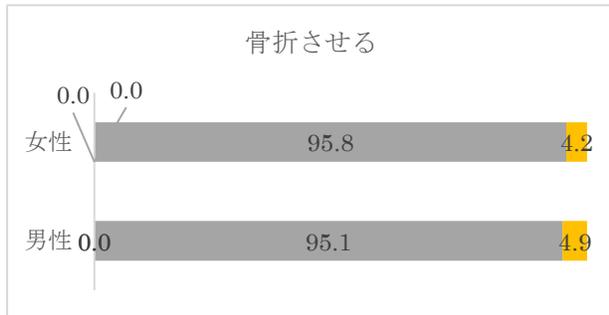
【その他】を選択した方の意見

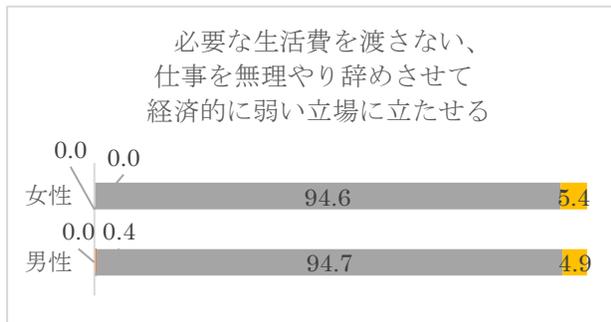
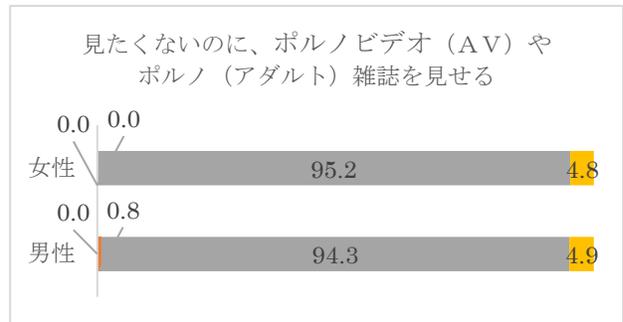
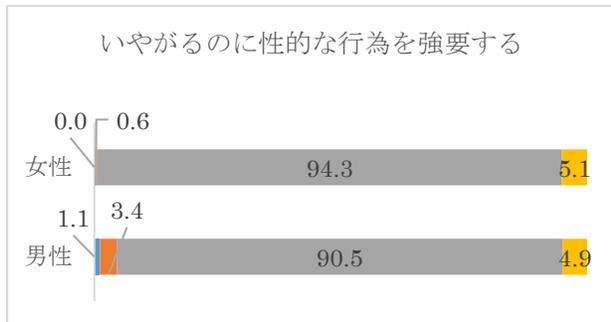
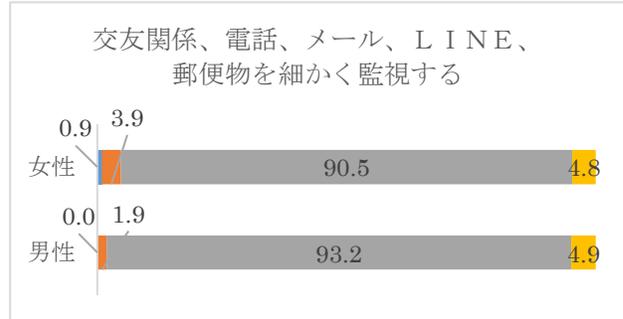
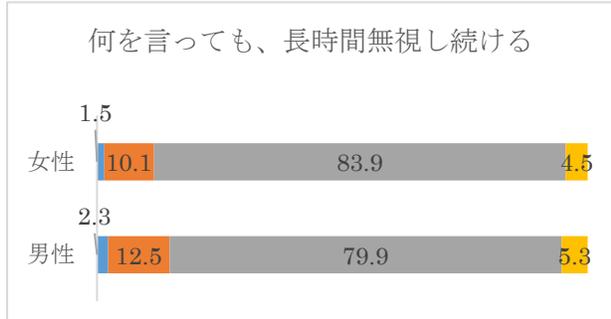
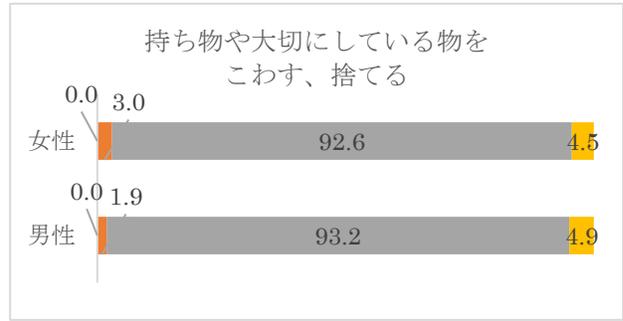
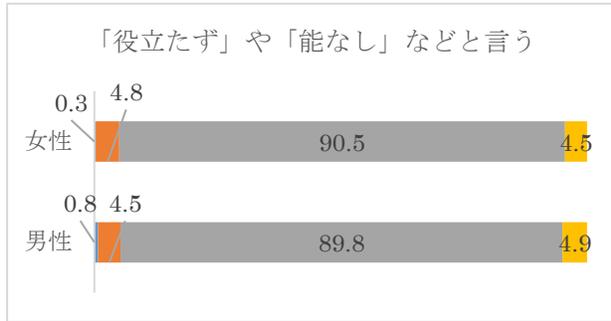
- ・まだ愛情があるから。
- ・今思うと、その時の自分の考え方・精神状態も普通ではなかったもので、誰かに相談して現状をどうにかしようと思えなかった。
- ・子供が悲しむから。
- ・子どものため。（子育てのため。）
- ・自分もどなっていた為。
- ・子どもが3人いるので、経済的に離婚できないから相談しても無駄だと思った。

3 配偶者や交際相手からの加害経験の有無

◆男女ともに、【大声でどなる】が最も高く、次いで【何を言っても長時間無視し続ける】が高くなっています。

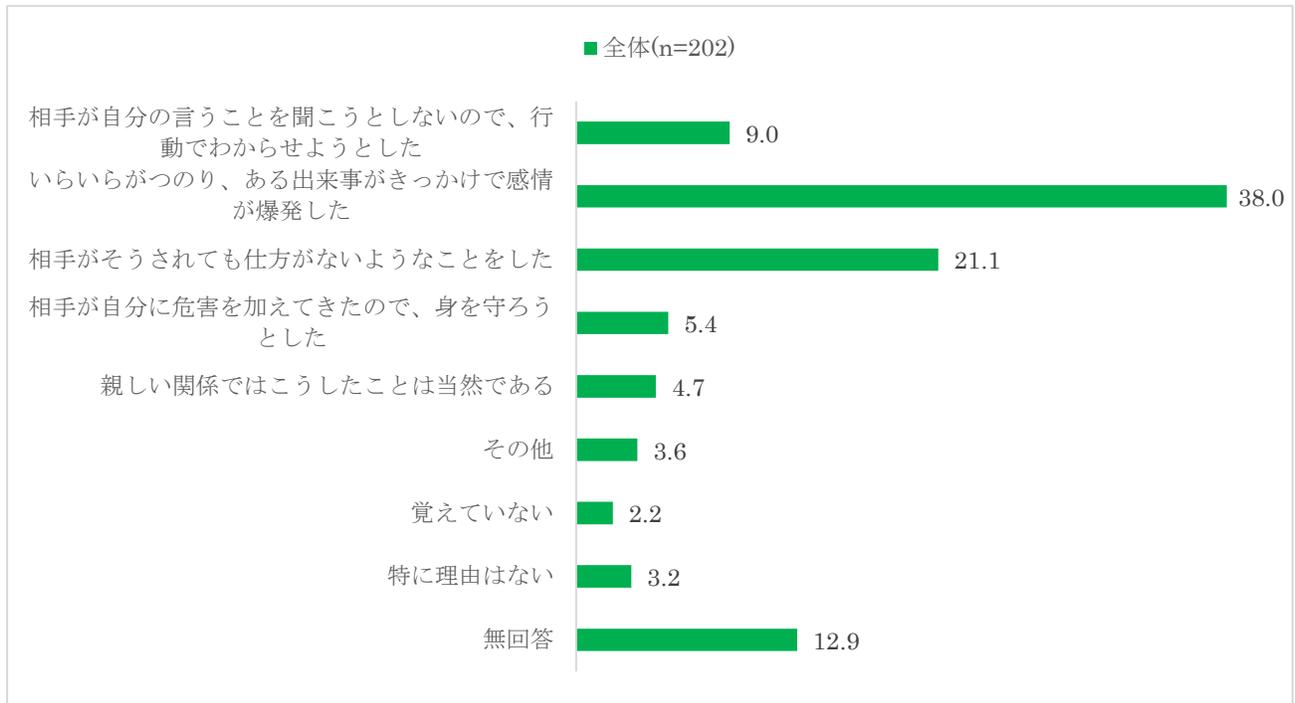
■ 何度もあった ■ 1、2度あった ■ まったくない ■ 無回答 ※女性 (n=336) ・男性 (n=264)





<加害行為に至ったきっかけ>

◆きっかけは、「いらいらがつのり、ある出来事がきっかけで感情が爆発した」が最も高く、次いで「相手がそうされても仕方がないようなことをした」となっています。

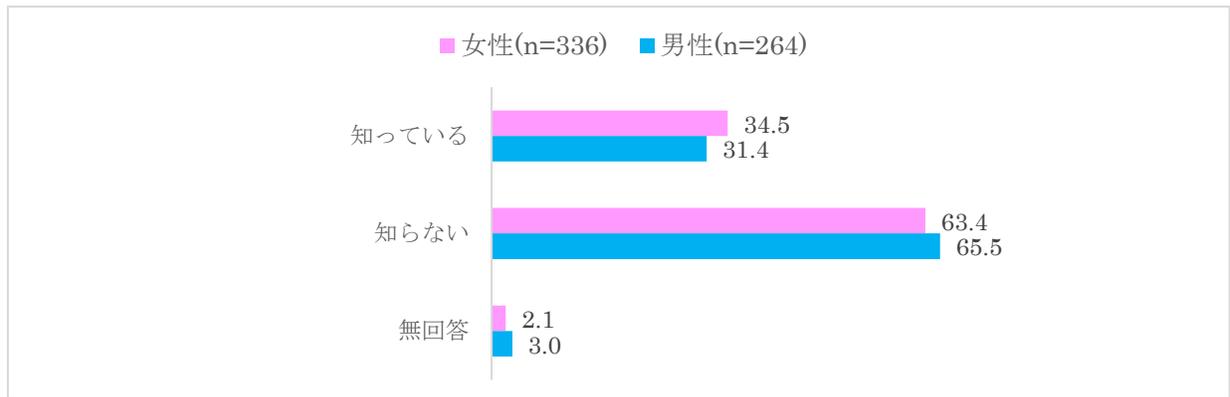


【その他】を選択した方の意見

- ・第三者（無関係）に言いがかりをつけることや、ケンカを売るようなことを言うから。
- ・きちんと話しをしたかったのに、向き合ってくれず無視されたから。
- ・考え方の違い。
- ・親切を理解しようとしなかったから。
- ・性的な行為は、配偶者としかできないから。他の人との行為は犯罪につながる可能性がある。
- ・口論が激化した為。
- ・いらない物だと思い、間違えて捨ててしまった。
- ・長い間には、1、2度は言い合いから大声になってしまう事もあった。
- ・ケンカの中での出来事。
- ・浮気の証拠を集めて別れるため。

4 配偶者からの暴力について相談できる窓口の認知

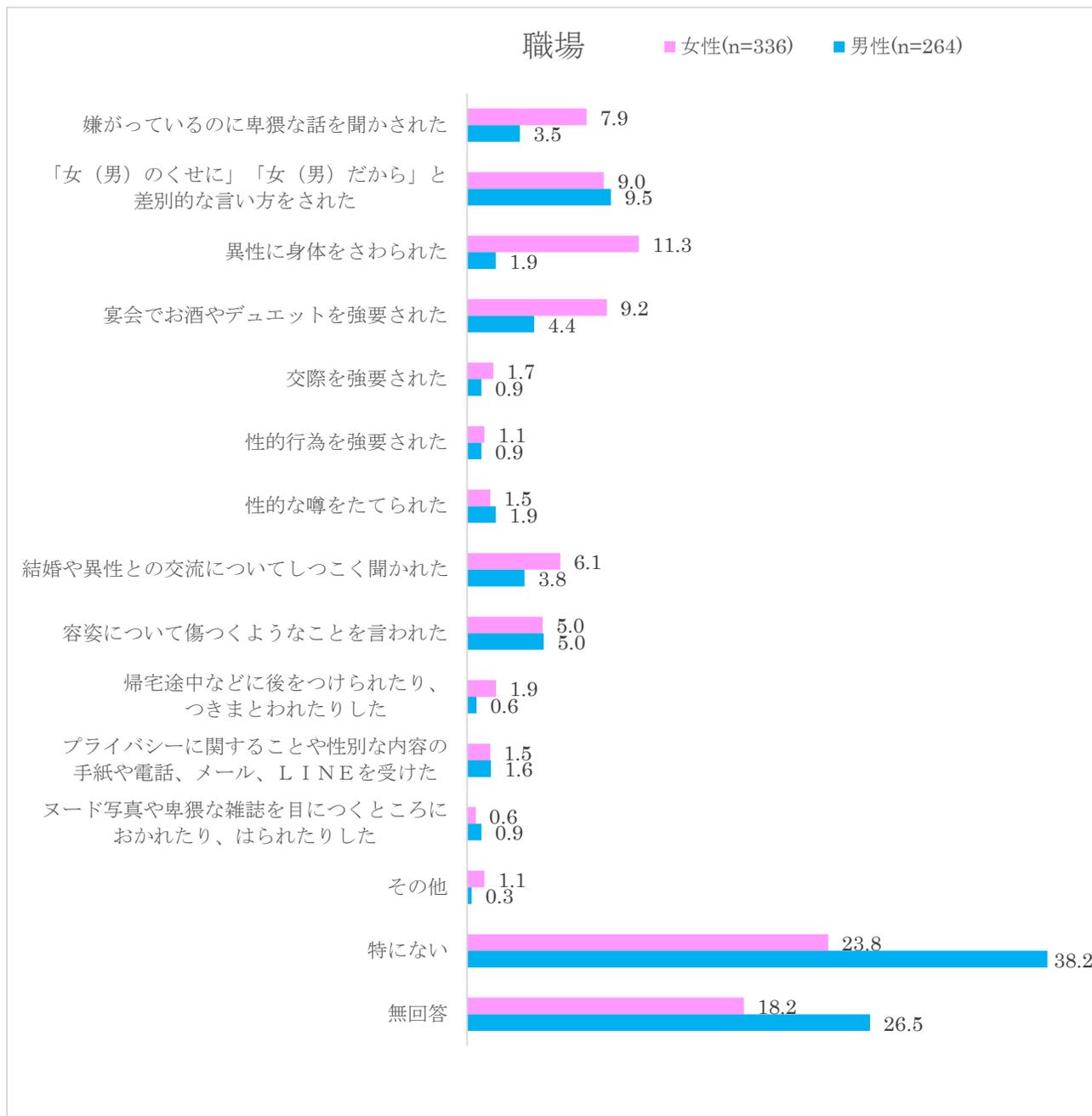
◆男女ともに「知らない」が6割を超えており、多くの方が相談できる窓口を知りません。



5 不愉快な行為の経験の有無

- ◆学校、地域に比べ、職場において、不愉快な行為を経験することが多くなっています。
- ◆職場・学校・地域の全ての分野において、【「女（男）のくせに」「女（男）だから」と差別的な言い方をされた】が高くなっています。
- ◆性別で見ると、女性のほうが男性より不愉快な行為を経験しています。



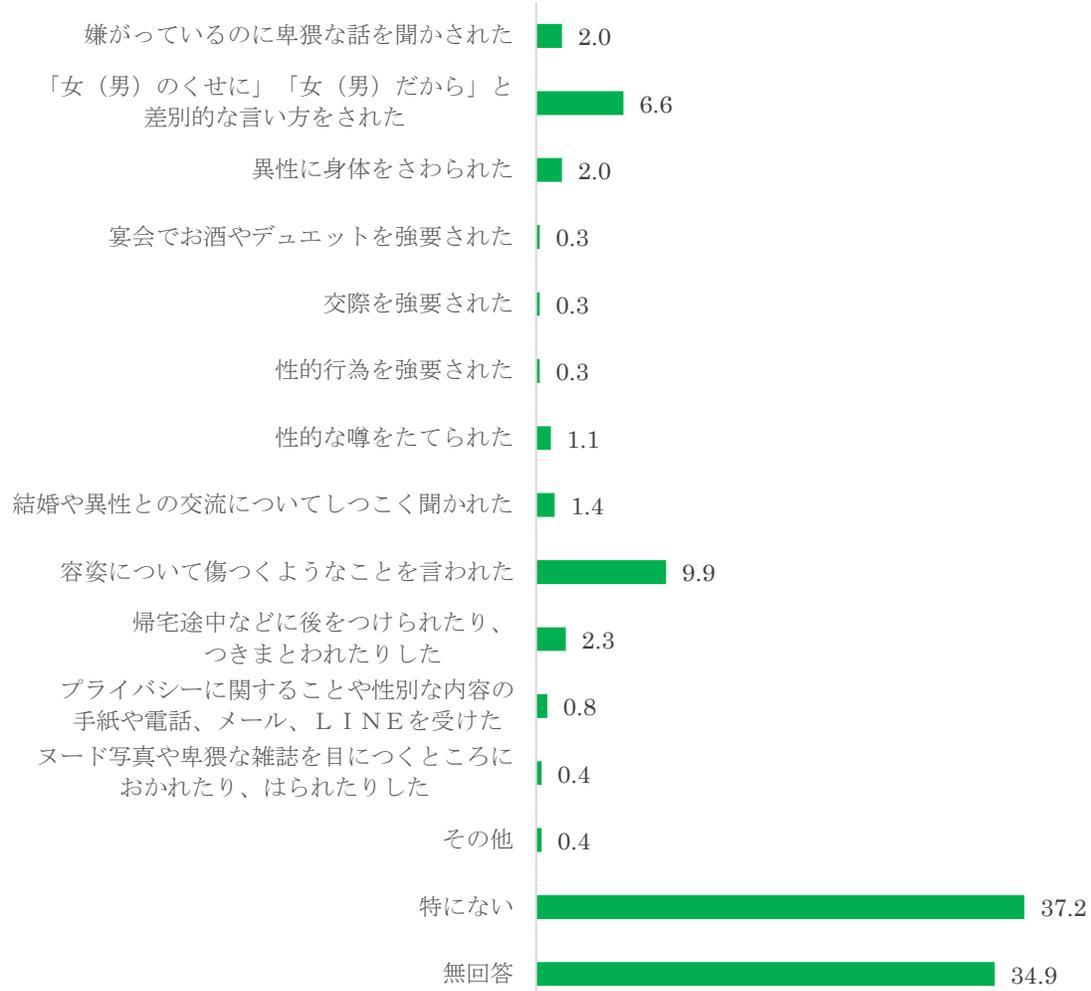


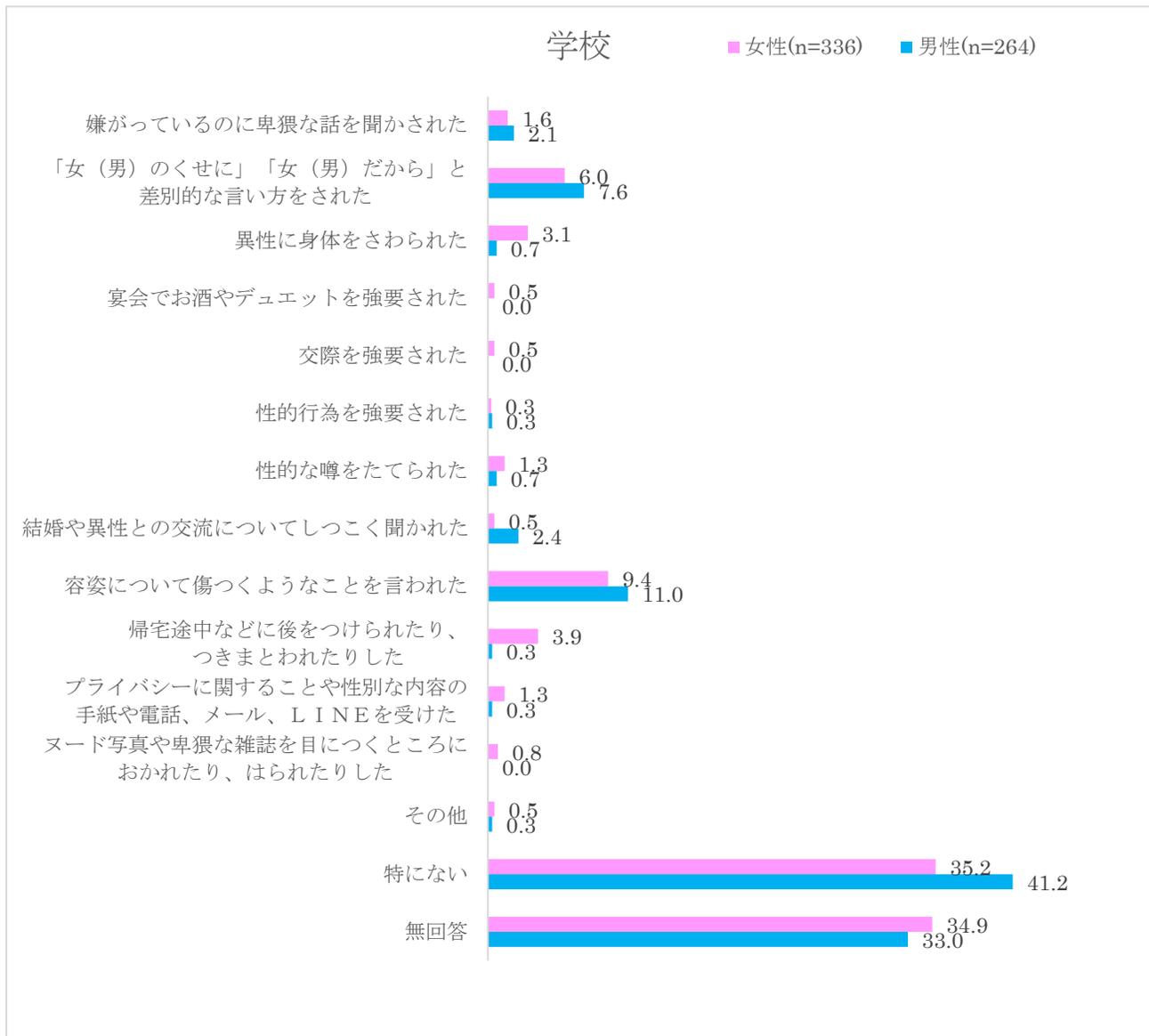
【その他】を選択した方の意見（職場）

- ・希望休なのにダメと言われた。
- ・無視、陰口、妙な噂
- ・パワハラ（上司）
- ・痴漢
- ・プライバシーを他言された。

学校

■ 全体(n=632)

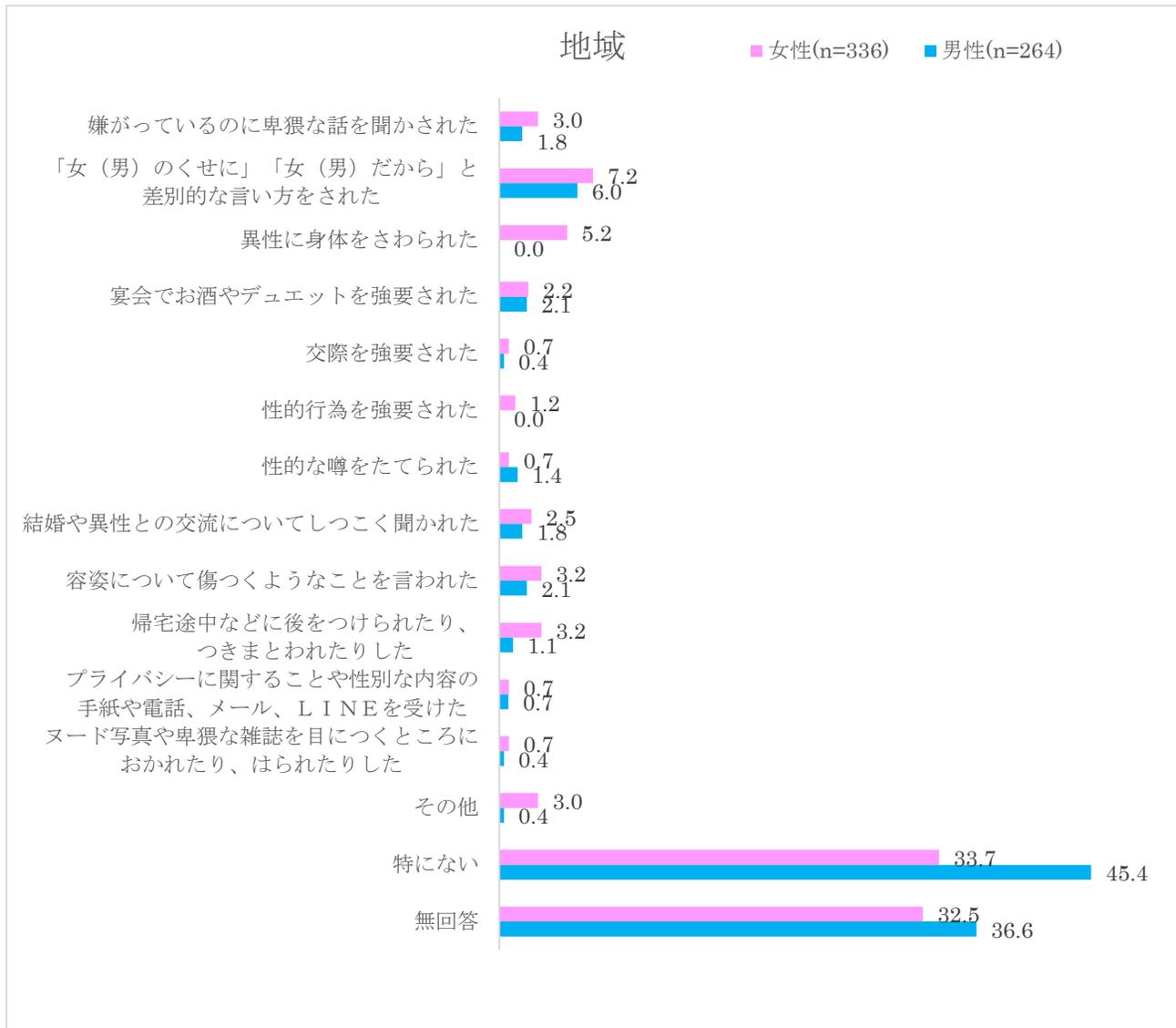




【その他】を選択した方の意見（学校）

- ・無視、陰口、妙な噂
- ・プライバシーを他言された。





【その他】を選択した方の意見（地域）

- ・無視、陰口、妙な噂
- ・プライバシーを他言された。
- ・家庭の事をふれまわる。